

## 緊急申し入れ！！

「高山線土砂流入についてJR東海労名古屋地本申5号」

### 猛暑の中、現場での作業に感謝します！ その苦労に会社は答えているのか？

高山線では、6月29日の豪雨さらに追い打ちをかけるように、7月7日にも豪雨にみまわれ2度にわたり土砂が流入し線路が寸断されています。そのため飛騨金山～下呂、坂上～猪谷間が現在も運転見合わせが続いています。（8月6日現在）

JR東海労名古屋地本はJR東海会社に対し現場で発生している問題及び、安全対策、今後の安定輸送を求めて緊急に申し入れを行いました。

#### 根本的な原因を明らかに

過去2014年に発生した中央線南木曾～十二兼間の土砂流入は、まだ記憶に新しいところですが。会社は過去に発生した事象で何を教訓化しているのでしょうか。

私たちは、今後災害に強い鉄道づくりのため具体的な対策を取るように、あわせて申し入れました。

#### 猛暑続きの中、現場への配慮は

猛暑といわれ、連日体温も上回る暑さが続いています。そのような中で復旧作業に当たる現場社員、協力会社社員の健康管理など体調も心配されます。

一方、運転職場や指令など運行にかかわる職場でも行路の変更、変更した勤務の確定、行路作成など業務量が増えています。以前発生した中央線土砂流入では、記載漏れなどミスが発生していました。災害により発生する問題は多岐に渡ります。ただでさえ現場では、要員不足で社員は苦労しています。私たちJR東海労は、現場に十分な要員を確保することも求めていきます。

JR東海会社は、高山線のみならず、各線区においても早急に安全点検を行い、沿線自治体とも連携して、取り組みを早急に検討せよ！！

ここ数年大きな被害をもたらす豪雨は、もはや異常気象ではない  
このような気象問題を正面からとらえ災害に負けない鉄道づくりを！！